

(※太枠内のみ記入してください) 就学奨励費にかかる収入額・需要額調書(兼 委任状)

鳥取県立倉吉養護学校長 様

下記のとおり収入額・需要額調書を提出します。また、就学奨励費の請求及び受領に関する権限を学校長に委任します。

(整理番号)No.

保護者等氏名 (記名・押印又は署名)		住所 ()		幼児・児童・生徒氏名		学校名、学年(特別支援学級名)等 鳥取県立倉吉養護学校 部 年		※都道府県の地区別区分 (Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ) 地域の級地区分 1-1、1-2、2-1 2-2、3-1、3-2		学校長認印					
世帯の収入状況				世帯の状況(前年12月末日現在)		需 要 額 等									
				氏 名	生年月日 (満年齢)	在学学校名・学年 (特別支援学級通学の有無)	教育扶助金額			生活扶助基準					
通学費	※ 学校給食費	※ 基準額	※ 第1類				※ 期末一時扶助費	※ 第2類							
所得 控 除 前 の	総所得金額	円		年 月 日 (才)		円	円	円	円	f (基準額)					
	退職所得金額			年 月 日 (才)						円					
	山林所得金額			年 月 日 (才)						g (地区別冬季加算額)					
	計	A		年 月 日 (才)						円					
所得 控 除	社会保険料			年 月 日 (才)						※					
	生命保険料			年 月 日 (才)						円					
	地震保険料			年 月 日 (才)						i 需要額 (a~hの合計)					
	計	B		年 月 日 (才)						円					
所得額(A-B)		C	※		年 月 日 (才)					収入額/需要額					
所得月額(C×1/12)		D	※		年 月 日 (才)					F/i=					
障害者加算控除 (保護基準により算定)		E	※		年 月 日 (才)										
収入額(D-E)		F	※	合 計		a	※	b	※	c	※	d	※	e	※
通学 費 明 細	(通学費を要した者ごとに記入すること)					特記事項 生活保護世帯 該当 非該当					支弁区分 ☐ Ⅰ区分(令第2条第1号該当) ☐ Ⅱ区分(" 第2号該当) ☐ Ⅲ区分(" 第3号該当)				

(注) 1. 支弁区分欄は、特別支援学級の場合は、収入額が需要額の2.5倍未満の者はⅡ区分、2.5倍以上の者はⅢ区分として処理すること。

2. 特記事項欄は生活保護等の該当事項を記入すること。

3. 整理番号は個人別支給台帳の番号に合わせること。

収入額・需要額調書記入例

この書類は、就学奨励費の支給を受けるため必要ですから、正確にありのままを記入してください。

記入例

住所は、この調書を提出するときの住所を記入。
ただし、令和元年12月31日の住所と異なる場合は、
令和元年12月31日の住所を()書きに記入。

就学奨励費にかかる収入額・需要額調書(兼 委任状)

今の学年を記入

鳥取県立倉吉養護学校長 様
下記のとおり収入額・需要額調書を提出します。また、就学奨励費の請求及び受領に関する権限を学校長に委任します。

(整理番号)No.

保護者等氏名	住所	幼児・児童・生徒氏名	学校名、学年(特別支援学級名)等	※都道府県の地区別区分 (Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ) 地域の級地区分 1-1、1-2、2-1 2-2、3-1、3-2	学校長認印
鳥取 太郎 (記名・押印又は署名)	鳥取市東町1丁目271番地 ()	トトリ イナロウ 鳥取 一郎	鳥取県立倉吉養護学校 小学部 第6学年		

世帯の収入状況		世帯の状況(前年12月末日現在)			需 要 額 等						
		氏 名	生年月日 (満年齢)	在学学校名・学年 (特別支援学級通学の有無)	教育扶助金額			生活扶助基準			
所得 控 除 前 の	総所得金額	円	鳥取一郎	平成16年5月5日 (1 1才)	鳥取県立倉吉養護学校 小学部 第5学年	円	円	円	円	円	f (基準額)
	退職所得金額		太郎	昭和48年7月5日 (4 2才)							円 g (地区別冬季加算額)
	山林所得金額		花子	昭和50年8月5日 (4 0才)							円
	計	A	二子	平成14年9月5日 (1 3才)	××町立××中学校 第1学年(有)						円 h 住宅扶助基準
所得 控 除	社会保険料		鳥夫	昭和19年10月5日 (7 1才)							円 i 需要額 (a~hの合計)
	生命保険料		取子	昭和23年11月5日 (6 7才)							円
	地震保険料										
	計	B	◎現在の年齢等ではなく、令和元年12月 31日現在の状況を記入してください。								
所得額(A-B)		C ※	◎同一生計世帯の世帯員全員を記入してください。			特別支援学級に通学の場合には (有)を、そうでない場合には(無)を記入					収入額/需要額 ※ F/i=
所得月額(C×1/12)		D ※									
障害者加算控除 (保護基準により算定)		E ※									
収入額(D-E)		F ※				a ※	b ※	c ※	d ※	e ※	
通 学 費 明 細	(通学費を要した者ごとに記入すること)				特記事項 生活保護世帯 該当 非該当 辞退します。 鳥取 太郎 (印)				支弁区分 ☐ Ⅰ区分(令第2条第1号該当) ☐ Ⅱ区分(" 第2号該当) ☐ Ⅲ区分(" 第3号該当)		

(注) 1. 支弁区分欄は、特別支援学級の場合は、収入額が需要額の2.5倍未満の者はⅡ区分、2.5倍以上の者はⅢ区分として処理すること。
2. 特記事項欄は生活保護等の該当事項を記入すること。
3. 整理番号は個人別支給台帳の番号に合わせること。

該当するほうに○印。
生活保護に該当する場合は、市町村役場または
福祉事務所でその旨の証明書を交付してもらい添付。

☆太枠で囲んだ欄のみ記入してください。
記入された所を修正される場合は二重線で抹消し、訂正印(保護者欄に押されたものと同じ日
を押してください。
(ホワイト修正液は使用しないでください)

※就学奨励費支給を辞退される方のみ記入、押印してください。
この場合世帯の状況の記載の必要はありません。(個人番号・所得証明も不要です)